

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-206	高等学校	外国語	論理・表現 I	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教 科 書 名		
9 開隆堂	論 I 009-902	Revised Applause English Logic and Expression I		

1. 編修の基本方針

教育基本法、学校教育法を教材の中で具体化するとともに、学習指導要領に示された目標と内容に沿って、外国語を使って豊かなコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を養うことを目指し、以下の基本方針を設定しました。

(1) 「話す」「書く」ための基礎を確実に習得できる教科書

・文法項目は、中学校までに習った内容から、高校で習う基本的な内容まで、「話す」「書く」うえで必要な運用度の高いものを精選して取り上げています。英語に特有の論理表現や言語の働き（機能）、音声の特徴も学びながら、「話す」「書く」ための基礎を確実に習得することができます。

(2) 目で楽しみながら学べる教科書

・各レッスンの冒頭には、本文対話 (Model Dialog) の内容を想起させる写真を大きく用いています。また、各レッスンには共通した登場人物を登場させ、その他の各コーナーでも多くのイラストや写真、図解を使用することで、視覚的に英語を理解できるようにしています。

(3) 「話す力」と「書く力」を無理なく身につけられる教科書

・レッスンの入口 (扉写真、Basic Activity in Pairs) から出口 (Main Activity、Further Activity) まで、「話すこと」と「書くこと」を通じて情報や考えを発信する機会をくり返し設けています。段階ごとにふさわしい難易度・分量の活動となっており、かつ生徒が楽しんで取り組めるようなテーマ設定にしているので、学習した内容を活用しながら、無理なく「話す力」と「書く力」を身につけることができます。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
教科書全体の活動	全課の言語活動において、ペアワークやグループワークを通して、互いに学び合い、高め合う活動が行えるように配慮しました。また、グループやペアで対話や議論を行う活動を豊富に設定することにより、互いの意見の異同を確認し、尊重する態度を養うことを目指しました(第3号)。	全課
辞書の使い方 Pre-Lesson 1～6	高等学校での学習のために必要とされる基本的な学習事項を簡潔に示し、学習段階に応じて繰り返し参照できるようにしました。日本語と異なる英語の構造を系統的に学ぶことを通して、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養います(第1号)。	pp.8-15
Lesson 1～14 ・Warm-Up、Model Dialog、Focus など (Main Activity、Further Activity 以外)	扉写真の内容に即した簡単な質問に英語で解答したり、中学校で学習した英語の文構造や文法事項の知識をさまざまな形式でとらえ直したりする活動を通じて、創造性を培い、真理を求める態度を養います(第1、2号)。 日常生活における自然な文脈の中で提示される本文対話や、自分のことや自分のまわりの人についての表現活動を通し、自国や他国の文化を知り、それを尊重する態度を養うとともに、自他の敬愛と協力を重んじる態度を養います(第3、5号)。 英語の基本的な文構造や文法事項、英語特有の論理表現や言語の働き(機能)、音声の特徴を学ぶことで、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培います(第1号)。	pp.16-19 pp.22-25 pp.30-33他
・Main Activity、Further Activity	自分やクラスメートの紹介や、来日した知り合いと過ごす週末の予定、これまでの経験などについて話し合ったり、富士山に登るときのルールや日本の食品ロスについて考えたり、日本文化を紹介したりする活動など、多様な活動を通して、自他の敬愛と協力を重んじながら、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度や、伝統や文化を尊重する態度を養います(第3、4、5号)。	pp.20-21 pp.26-27 pp.34-35他
Step Up Paragraph Writing 1～2 Presentation 1～2 Debate 1～2	パラグラフ・ライティングやプレゼンテーション、ディベートの基本的な技術を学ぶことで、自己発信につながる創造性を培い、自律の精神を養います(第2号)。	pp.28-29 pp.44-45 pp.66-67他
Scene 1～4	特定の場面でなされる対話を通して、円滑にコミュニケーションを図るための豊かな情操と道徳心を培います(第1号)。	p.36, 52, 74, 104
Break Time ①～④	英語特有の発音や数え方などを学ぶことを通し、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養います(第1号)。	p.37, 53, 75, 105

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

造本は丁寧で堅牢です。また、環境に配慮した用紙やインキを使用しています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-206	高等学校	外国語	論理・表現 I	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教 科 書 名		
9 開隆堂	論 I 009-902	Revised Applause English Logic and Expression I		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

(1) 無理なくステップアップしながら「書く力」「話す力」を身につけられる教科書

・全レッスンが、中学校の復習を兼ねた導入から、文法項目の学習、そしてそれらの活用までをスムーズに展開でき、どんな生徒でも無理なく表現力を育成し習得できる構成になっています。各レッスンは、①「英語に触れる」セクション(中学校の復習・導入)、②「英語を理解する」セクション(文法事項・文構造の学習)、③「英語を使って表現する」セクション(表現活動)の3つのセクションで構成されており、各セクションが見開き2ページで完結しているため、見開き単位で学習内容やゴールが一目でわかるようになっています。

①中学校の復習をしながら高校内容の導入を行う「英語に触れる」セクション

・最初のセクションでは、中学校での学習事項を復習しながら高校での学習準備を行えるようになっています。扉写真の内容に即した簡単な質問に英語で解答する活動(Warm-Up A)、中学校の学習事項をさまざまな形式でとらえ直す活動(Warm-Up B)、高校の学習事項が入った本文対話(Model Dialog)、簡単な対話練習(Basic Activity in Pairs)等を通じて、スムーズに高校の学習につなげることができます。

②表現活動に必要な文法事項を学習する「英語を理解する」セクション

・2つ目のセクションでは、英語を話したり書いたりするのに必要な文法知識を無理なく習得・定着できるようになっています。左ページの基本例文と解説(Focus)を通じて習得した文法知識を、右ページの練習問題(Exercises)を解くことによって、学習事項が理解できているかどうかを確認することができます。さらに、簡単な言語活動(Perform)を通じて、FocusやExercisesで習得した知識を確実に定着させることができます。

③自己表現力を飛躍的に伸ばす「英語を使って表現する」セクション

・最後のセクションでは、学習した内容を活用しながら、個人だけではなくペアやグループでも、さ

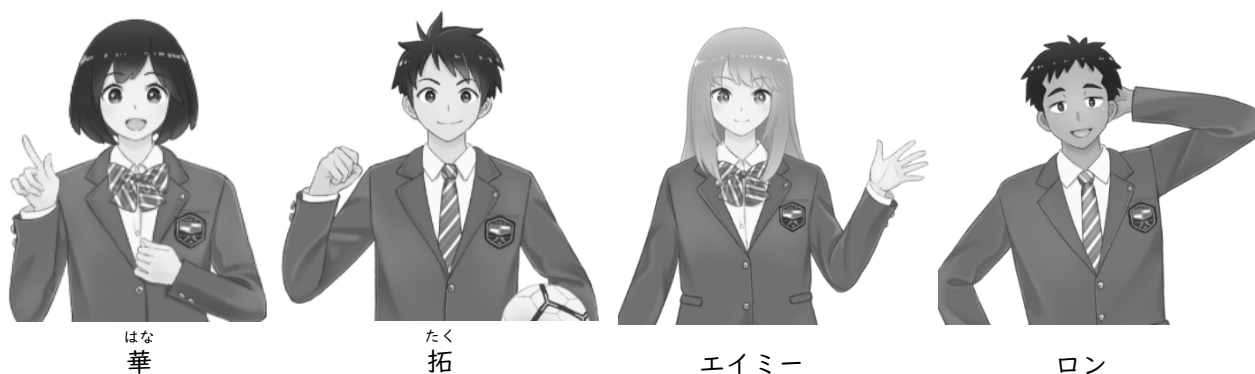
まざまな表現活動を行えるようになっていきます。Main Activityは3つのステップに分かれているので、どんな生徒でも無理なくステップアップしながら、自己表現力をのばすことができます。

(2) 生徒が興味をもって学習できる工夫

- ・生徒が興味をもって学習することができ、かつ理解しやすいようにイラストや写真を多く配置しました。各レッスンの冒頭には、本文対話 (Model Dialog) の内容を象徴する色鮮やかで興味を引く扉写真を大きく配置しており、レッスンの導入をスムーズに行うことができます。
- ・本文対話 (Model Dialog)、文構造・文法事項に関する基本例文 (Focus)、対話例や発表例 (Main Activity) については、QRコード読み取り先で視聴することができます。

(3) 場面での文法・論理表現・言語の働きの導入と登場人物設定

- ・各レッスンでは、扉写真の内容に即した簡単な英問英答と中学校の学習事項の復習という2つの活動のあとに、すぐ本文対話 (Model Dialog) を読ませることで、文法事項を場面で理解できるようにしています。同時に、この本文対話では、自然な文脈において論理表現や言語の働き (機能) (Logic & Function) を学ぶことができます。
- ・本文対話 (Model Dialog) では全レッスンを通して共通の登場人物を設定しています。高校生にとって親しみやすい人物や内容・テーマを設定にすることにより、楽しみながら文法や機能表現を学べるようにしています。



(4) 基礎学力の確実な底上げ

- ・レッスンの練習問題 (Exercises) の後には、図表やイラストの内容を踏まえて考える問題 (Perform) を設けました。単なる文法練習で終わらず、図表やイラストの内容と文法の意味を結びつけて考えさせることで、思考力を身につけながら文法を学ぶことができます。
- ・また、本書の後半には、学習した文法事項を活用しながらペアやグループでより発展的な表現活動 (Activity Plus) を行うページを設けています。文法の基本的な使い方について知識の定着を図ったうえで表現活動を行うことで、自己表現力をさらにのばすことができます。

2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
辞書の使い方		第3章第2節内容の取扱いに当たっての配慮事項 2(6)	pp.8-9	1
Pre-Lesson 1～6		第2款 第4-2(1)／第3款 1、2、3	pp.10-15	3
Lesson 1	My Hero	第2款 第4-1(1)(3)、2(1)(2)(3)ア・ウ、3／第3款 1、2、3	pp.16-19	4
	あこがれの人を紹介しよう	第2款 第4-1(1)(2)(3)、2(2)(3)ア・イ・ウ、3／第3款 1、2、3	pp.20-21	
Lesson 2	Plans for the Weekend	第2款 第4-1(1)(3)、2(1)(2)(3)ア・ウ、3／第3款 1、2、3	pp.22-25	4
	週末の予定を発表しよう	第2款 第4-1(1)(2)(3)、2(2)(3)ア・イ・ウ、3／第3款 1、2、3	pp.26-27	
Lesson 3	Tips for Foreign Tourists	第2款 第4-1(1)(3)、2(1)(2)(3)ア・ウ、3／第3款 1、2、3	pp.30-33	4
	ルールや注意事項を説明しよう	第2款 第4-1(1)(2)(3)、2(2)(3)ア・イ・ウ、3／第3款 1、2、3	pp.34-35	
Lesson 4	My Own Experiences	第2款 第4-1(1)(3)、2(1)(2)(3)ア・ウ、3／第3款 1、2、3	pp.38-41	4
	これまでの経験を紹介しよう	第2款 第4-1(1)(2)(3)、2(2)(3)ア・イ・ウ、3／第3款 1、2、3	pp.42-43	
Lesson 5	Popular Foods in the World	第2款 第4-1(1)(3)、2(1)(2)(3)ア・ウ、3／第3款 1、2、3	pp.46-49	4
	好きな日本の食べ物を紹介しよう	第2款 第4-1(1)(2)、2(2)(3)ア・イ、3／第3款 1、2、3	pp.50-51	
Lesson 6	Guinness World Records	第2款 第4-1(1)(3)、2(1)(2)(3)ア・ウ、3／第3款 1、2、3	pp.54-57	4
	ギネス記録に載るような企画を考えて発表しよう	第2款 第4-1(1)(2)、2(2)(3)ア・イ、3／第3款 1、2、3	pp.58-59	
Lesson 7	The Best-before Dates	第2款 第4-1(1)(3)、2(1)(2)(3)ア・ウ、3／第3款 1、2、3	pp.60-63	4
	食品ロスを減らす方法を考えて発表しよう	第2款 第4-1(1)(2)(3)、2(2)(3)ア・イ・ウ、3／第3款 1、2、3	pp.64-65	
Lesson 8	Ready for Disasters	第2款 第4-1(1)(3)、2(1)(2)(3)ア・ウ、3／第3款 1、2、3	pp.68-71	4
	災害時の備えについて考えて発表しよう	第2款 第4-1(1)(2)(3)、2(2)(3)ア・イ・ウ、3／第3款 1、2、3	pp.72-73	
Lesson 9	Introducing Japanese Culture	第2款 第4-1(1)(3)、2(1)(2)(3)ア・ウ、3／第3款 1、2、3	pp.76-79	4
	日本の文化やおみやげを紹介しよう	第2款 第4-1(1)(2)(3)、2(2)(3)ア・イ・ウ、3／第3款 1、2、3	pp.80-81	
Lesson 10	What Did You See?	第2款 第4-1(1)(3)、2(1)(2)(3)ア・ウ、3／第3款 1、2、3	pp.84-87	4
	最近見かけた出来事を説明しよう	第2款 第4-1(1)(3)、2(2)(3)ア・ウ、3／第3款 1、2、3	pp.88-89	
Lesson 11	Your Own Special Products	第2款 第4-1(1)(3)、2(1)(2)(3)ア・ウ、3／第3款 1、2、3	pp.90-93	4
	オリジナル製品のアイデアを考えて発表しよう	第2款 第4-1(1)(2)(3)、2(2)(3)ア・イ・ウ、3／第3款 1、2、3	pp.94-95	
Lesson 12	A Sightseeing Spot to Recommend	第2款 第4-1(1)(3)、2(1)(2)(3)ア・ウ、3／第3款 1、2、3	pp.98-101	4
	おすすめの観光地を紹介しよう	第2款 第4-1(1)(2)(3)、2(2)(3)ア・イ・ウ、3／第3款 1、2、3	pp.102-103	
Lesson 13	I Wish I Could	第2款 第4-1(1)(3)、2(1)(2)(3)ア・ウ、3／第3款 1、2、3	pp.106-109	4
	学校や町のよりよくしたい点を考えて発表しよう	第2款 第4-1(1)(2)(3)、2(2)(3)ア・イ・ウ、3／第3款 1、2、3	pp.110-111	
Lesson 14	What Is “Upcycling”?	第2款 第4-1(1)(3)、2(1)(2)(3)ア・ウ、3／第3款 1、2、3	pp.112-115	4
	欲しいアップサイクル製品を発表しよう	第2款 第4-1(1)(2)(3)、2(2)(3)ア・イ・ウ、3／第3款 1、2、3	pp.116-117	
Step Up Paragraph Writing1～2		第2款 第4-1(1)(2)(3)、2(2)(3)ア・イ・ウ、3／第3款 1、2、3	pp.28-29	各1
Presentation 1～2			pp.44-45	
Debate 1～2			pp.66-67他	
Scene 1～4		第2款 第4-1(1)(3)、2(2)(3)ア・ウ、3／第3款 1、2、3	p.36他	各1
Break Time ①～④		第2款 第4-2(2)	p.37他	-
				計70